

生物資源科学部だより

編集・発行 / 島根大学 生物資源科学部 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 URL:<http://www.life.shimane-u.ac.jp/>
TEL:(0852)32-6493 FAX:(0852)32-6499 E-mail:lif-jimu@office.shimane-u.ac.jp

Vol.27

発行 2018年 1月



平成29年度保護者会を開催 168名が来学



11月4日(土)、後援会のご支援のもとに平成29年度の保護者会を開催しました。本年度は168名の方々が大学へお越しになり、来学された方の多くが中国地方にお住まいでしたが、遠く関東や九州からお越しの方もいらっしゃいました。午前中は、普段授業を行っている講義室や実験室等で、一部の学科による研究室紹介を行いました。その後の全体会では、井藤学部長より平成30年度学部・研究科の改組についての説明や、武田学生委員長より学生生活についての説明、キャリアセンター教員による講演会「島根大学

のキャリア教育と就職支援」がありました。

教員との面談では、学業成績、日常生活、進路など、様々な点についてのご相談があり、保護者の皆様がどのようなことに関心をお持ちかを知ることができました。また保護者の皆様も、お子様の大学でしか見せない一面について、お知りになることができたのではないかと思います。今後とも皆様のご期待に沿えますよう、学部一丸となって教育に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

研究科入試委員会企画「理系進路ガイダンス(大学院進学説明会)」を開催いたしました

12月6日(水)に理系進路ガイダンスと大学院進学説明会を開催いたしました。本ガイダンスは、学生のキャリア形成と大学院進学率の向上を目的として、定期的で開催しております。当日は学部3・4年生の多くの学生に参加していただきました。学生からは「進学してもいいかなと思うようになった」といった声が聞かれ、自身のキャリア



を考える良い機会となったようです。今後も、学生のキャリア形成を高めるための講演会等を開催する予定です。新たに発足する自然科学研究科でも、学生のキャリアを高めるプログラムを準備しております。保護者の皆様におかれましては、お子様の大学院進学をご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

「2017中山間フェアinいいなん」に参加しました



昨年に引き続き、今年も10月14日(土)に島根県中山間地域研究センター(飯南町)において開催された「中山間フェアinいいなん」に生物資源科学部の教職員・学生25名が参加しました。COC人材育成コースに属する地域貢献に意欲的な学生たちの活動の

紹介や、中山間地域の活性化につながる教育研究の紹介など、ポスター展示を行いました。ポスター展示の間には、研究センター前広場で、近隣のお店が提供する地域食材を利用した食事やスイーツに舌鼓をうちました。

1 ~ 4 年 生 の 様 子

生物科学科

松江の秋は短く、夏の暑さは嘘のように冬支度へと急ぎうつろい、学生生活が再スタートしました。1年生は、新たに、専門的な実験・野外調査などを行う基礎生物学実験が始まりました。2年生は、より専門的な講義やセミナーIIが始まりました。セミナーIIでは、各教員の下、科学論文の読み方・野外観察・実験を行うなど、研究を行う上での基礎を学びます。3年生は、研究室訪問を行い、11月には各研究室に仮配属されます。同時に、各研究室での研究準備をすすめるセミナーIIIが始まりました。若い新任教員による特別講義もあり、学生の研究への関心が高まったようです。4年生は就職活動を終え、卒業研究もいよいよ最終段階です。卒業研究は、大学生活の核となるものです。「情熱」と「論理」と「倫理」とすべてを注ぎ込んだ自分の作品は、必ずのちの人生の糧になることでしょう。(舞木准教授)



生命工学科

1年生は、大学生活にすっかりなじみ、日々成長しています。残る定期試験もしっかりと乗り越えてくれるでしょう。2年生は、専門課程の講義科目や基礎的実験科目の半分以上を終了し、専門知識の習得に加え、実験技術や科学的思考力を培いつつあります。3年生は、後期から生命工学科の5つの研究室に分属し、卒論研究に向けた修行を本格的に始めています。一方で、卒業後の進学や就職の準備も具体的に始まります。4年生は、大学生活を締めくくる卒業論文を仕上げている段階です。2月には晴れ舞台である卒論発表会があり、これには家族の方にもご参加いただけます。がんばり抜いた経験は、これからの人生を支える大きな自信となることでしょう。(地阪准教授)



農林生産学科

農業生産学教育コース3年生2名は、地域志向教育事業により、益田市の大規模牧場にて3日間の現場体験を行い、畜産物生産に必要な技術と知識を習得しました。森林学教育コースの3年生は、実習で中山間地である邑南町の民家を実際に訪問して聞き取り調査を行いました。また町民の皆さんに集まっていただき調査結果を報告しました。農林生態科学教育コースの3年生は、昆虫生態・植物病理・微生物生態のいずれかの研究室に属し、各自が専門的な研究テーマを持って実験を進めています。農村経済学教育コースの2年生は、後期からセミナーに参加しています。2グループに分かれて商業簿記の演習やマーケティングの入門書の輪読に取り組んでいます。(赤沢准教授)



地域環境科学科

2017年度も残すところあとわずかです。1年生はだんだんと大学生活に順応し、自身の興味があるトピックについて調べ始めている頃だと思います。2年生は後期から各教育コースに配属されています。これから、生態環境科学、環境資源工学、地域工学という、「地域環境を科学する」という共通の大きなゴールへの到達を目指すための勉学を進めていく時期に入ります。3年生は後期から各研究室に配属されています。これまで学んだ知識を総動員して来年度から卒業研究を開始するための、下地作りに勤しんでいる頃でしょう。4年生は卒業研究において、野外や室内の実験、理論解析、数値シミュレーションなど、研究室ごとの独特な研究課題に力一杯取り組んでいます。(吉岡助教)



新任教員からのあいさつ



すがい きょうこ
須貝 杏子 特任助教

生物科学科
平成29年3月1日着任

2017年3月に生物科学科に着任しました須貝杏子と申します。野生植物が進化・多様化してきた背景を明らかにしたいと考え、フィールドワークと遺伝解析を組み合わせて研究を行っています。これまでは小笠原諸島や琉球列島といった島嶼地域で調査をしてきました。島根大学に来てからは、島根県が有する隠岐諸島において新たな研究を始めています。隠岐諸島は過去に日本列島と陸続きになった歴史をもち、現在の日本の森林の成立において大きな役割を果たしてきたと考えられるため、大変興味深い地域です。今後、隠岐諸島を中心に山陰地方の生物多様性の把握に努め、地域の保全活動にも貢献できるような研究を進めていきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。



しみず かや
清水 加耶 助教

農林生産学科
平成29年3月1日着任

現存種が400~8000万といわれる昆虫の形態や生態は実に様々です。私は大学の卒業研究（マルカメムシの寄主植物選択性）をきっかけに、昆虫と植物の多様な相互作用と、それを地道に探求する研究の楽しさに魅せられました。現在は、陸上で最も生物多様性が高いといわれる東南アジア・ボルネオ島の熱帯雨林に通い、崖を這ったりクレーンからぶら下がったりしながら、防衛のためにアリと密接な共生関係を営む「アリ植物」をめぐるアリ-植物-植食性昆虫の相互作用網や、数年に一度複数種の植物が同調して開花・結実する「一斉開花」現象への昆虫の応答の解明などに取り組んでいます。島根大学では身近な昆虫の生態観察を学生と共に楽しみながら自然への理解を深めていきたいです。



はしぐち あゆみ
橋口 亜由未 特任助教

地域環境科学科
平成29年3月15日着任

2017年3月より地域環境科学科に着任しました橋口亜由未と申します。大学生の時に研究活動でベトナムを訪れた時に、同じ地球上であっても利用できる水の量と質には地域で大きな差があることを知りました。そのことをきっかけに、地下水中のヒ素除去、環境水中からの難分解性有機フッ素化合物の分解技術の検討など、水処理技術の開発に関する研究を行ってきました。それらの経験を活かし、日本を代表する汽水湖である宍道湖・中海を有し「水の都」と呼ばれる松江市を始め、島根県の豊かな水環境の維持・向上に努めることで地域に貢献していきたいと思ひます。



さとう のりよし
佐藤 成祥 特任准教授

附属生物資源教育研究センター
海洋生物科学部門
平成29年4月1日着任

4月に着任しました佐藤成祥です。これまでの研究生活と共に各地を転々としてきましたが、初めての中国地方がまさかの隠岐の島になるとは思ひませんでした。大自然あふれるこの島で大いに研究に励みたいと思ひています。私はイカやタコが属する頭足類を対象に行動生態学の研究をしております。行動生態学というのは動物の行動がどのような適応的意義のもとに進化したのかを探る学問です。無脊椎動物とは思ひえない高い知能、精子のカプセルを手渡す特殊な繁殖方法、すばやい体色変化、防御のために使われる墨等、彼らが独自に獲得した形質の進化に迫るには、様々な頭足類の集まる隠岐の島は最高の場所です。この地の利を生かして頭足類が出す難問に果敢に挑戦していきます。

平成29年度成績優秀者・正課外活動優秀者を表彰

佐藤 隆人 DAI MING 岡本 直樹 原田 美帆
 上野 祐美 野津 昌史 丸山 里奈 戸澤 碧
 伊東 航一 西田 香織 森本由利子 榎土 達也
 土田 美樹 清水 幹次 (敬称略 14名)



7月27日(木)、生物資源科学部は平成29年度の成績優秀者と正課外活動優秀者の表彰式を執り行い、出席した11名の学生に井藤学部長から表彰状と記念品が授与されました。成績優秀者には、前年1年間の学業成績に基づき2年生以上の各学年・各学科最上位の学生が選出されます。正課外活動優秀者は、学力基準を満たした4年生のうち、正課外ボランティア活動・地域貢献活動・学内委員活動等による通算獲得ポイントが上位2名の学生です。いずれも今年度後期分の授業料が免除されるという特典があり、就学上の大きな励みとなっています。

受賞者の皆様の今後のさらなる活躍を期待いたします。

卒論・修論発表会、研究活動発表会を開催

生物資源科学部では卒業論文発表会を、研究科では修士論文発表会・研究活動中間発表会を開催しています。発表会では毎回活発な質疑が行われており、学生にとって日々の研鑽の成果を披露し、また自らの研究を深める貴重な機会となっています。

主な発表会の開催予定

発表会名	発表者	時期	備考
卒業論文発表会	学部4年	2月	各学科・教育コースで開催
			日程
生物	生物科学教育コース	2018年2月13日(火)	
生命工	生命工学教育コース	2018年2月17日(土)	
農林生産	農業生産学教育コース	2018年2月13日(火)	
	森林学教育コース	2018年2月13日(火)	
	農林生態学教育コース	2018年2月19日(月)	
	農村経済学教育コース	2018年2月3日(土)	
地域環境	生態環境科学教育コース	2018年2月13日(火)	
	環境資源工学教育コース	2018年2月13日(火)	
	地域工学教育コース	2018年2月13日(火)	

発表会名	発表者	時期	備考
研究活動中間発表会	修士1年	[春]2~3月 [秋]9月	各専攻合同開催
			日程
			各専攻合同開催
			2018年2月20日(火)

発表会名	発表者	時期	備考
修士論文発表会	修士2年	[春]2月 [秋]8月	[秋]各専攻合同開催
			日程
生物・生命	生物学分野	2018年2月9日(金)	
	生命工学分野	2018年2月22日(木)	
農林生産	農業生産学分野	2018年2月19日(月)	
	植物病理学分野	2018年2月14日(水)	
	森林環境学分野	2018年2月13日(火)	
環境資源		2018年2月14日(水)	

学会等における受賞者

受賞者	受賞内容
小川 貴央 准教授(生命工学科)	日本ビタミン学会奨励賞 受賞
清水 加耶 助教(農林生産学科)	第21回日本熱帯生態学会「吉良賞」奨励賞 受賞
佐藤 真理 助教(地域環境科学科)	第51回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞 受賞
武田 育郎 教授(地域環境科学科)	平成29年度農業農村工学会優秀論文賞 受賞
佐藤 成祥 特任准教授(附属生物資源教育研究センター)	第8回日本動物行動学会賞 受賞
児玉 有紀 准教授(生物科学科)	日本原生生物学会賞 受賞
吉岡 秀和 助教(地域環境科学科)	国際水田水環境工学会(PAWEES) Paper Award 受賞

平成29年度
 島根大学学位授与式
 (松江キャンパス)について

日時 / 平成30年3月23日(金) 10:00~
 会場 / 島根県民会館
 (島根県松江市殿町158)